

1. 科目名 (単位数)	保育児童基礎演習 (2単位)	3. 科目番号	GEBS2106
2. 授業担当教員	河合 光利		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>保育士資格取得に際して必修となる保育実習を見据え、保育実習 I 直前に開講される「保育実習指導 I」に先立っておこなわれる実習事前基礎学習を目的とする。実習生としての基本的な心構えやマナー、および基礎知識について具体的に学べるようにする。</p> <p>2年次秋学期実施の保育所実習、3年次春学期実施の施設実習に備え、実習概要の理解、実習日誌記録上の注意点や保育実技の習得ができるよう講義と演習を行う。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習生としての心構えを体得する。 2. 保育実習の基本的知識や実習の概要を理解し、説明することができる。 3. 保育実習 I に備え、保育所実習、施設実習の意義や実習園の概要などを調べ学習し説明することが出来る。 4. 保育教材を作成し、教材を活用して環境構成の意味を習得する。 5. 基本的な保育技術(手遊び・読み聞かせなど)の習得および教材製作について学び、実践することができる。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者としての心構えに関する課題 2. 保育環境の構成、教材研究に対する課題 3. その他 (授業内のワークシート、リフレクションシート) 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】名須川知子監修『保育者になる人のための実習ガイドブック AtoZ』 萌文書林, 2020</p> <p>【参考書】関口はつ江編『学びをいかす保育実習ハンドブック』大学図書出版, 2018</p> <p>東京福祉大学「保育実習の手引き」</p> <p>厚労省『保育所保育指針解説』フレーベル館, 2018</p> <p>その他、必要に応じて適宜紹介する</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習生としての心構えを体得できるか。 2. 保育実習の基本的知識や実習の概要を理解し、説明することができるか。 3. 基本的な保育技術(手遊び・読み聞かせなど)の習得および教材製作について学び、実践することができるか。 <p>○評定の方法</p> <p>個別の授業態度、グループ活動への取り組み、提出物及びレポートを総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業態度及びグループ活動への取り組み 60% 2. 各提出物 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>保育実習は、保育士資格取得の必須条件であり、子どもとともに生活をし、子どもと触れ合うことのできる唯一の機会です。保育者になるためには、己を知ること、保育を知ること、子どもを知ること、そして、社会を知ることが必要です。それは、自分はどうのような保育者になりたいのかはもちろん、将来、どのような子どもを育てたいのかといった考えを持つことが、これからの保育には必要要件になるからです。</p> <p>実習では、保育の知識や技術はもちろんのこと、目の前にいる子どもの姿や気持ちの持ち方など、身に着いていかねばならない学びがたくさんありますが、子どもが育つ喜びを知ることまた大きな学びです。しっかりと、一つひとつ学びを積み上げ、来るべき実習に臨んでください。</p>		
13. オフィスアワー	別途、通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業ガイダンス 実習とは何か、実習の目的と保育者として身につけていくべきものとは何か	事前学習	『保育所保育指針解説』の第1章をよく読み、保育所の役割、保育士の仕事について理解をもてるようにする。
		事後学習	保育者に必要な知識、技術とはどのようなものか、また、実習とはどのようなものであるかをまとめる。
第2回	保育実習の基礎知識 保育所・施設での実習の基礎知識 認定こども園での実習の基礎知識	事前学習	保育実習の対象となる各施設について、どのようなものであるか、事前に調べ、理解する。
		事後学習	授業から、保育実習の対象となる各施設の特性をノートにまとめる。
第3回	子どもの発達の特性について 3歳未満児と3歳以上児の発達の姿と特性を知るとともに基本的な保育者のかかわり方を理解する	事前学習	参考文献をもとに、乳児から幼児に至る子どもの発達の姿やその特性について調べておく。
		事後学習	子どもの発達の姿や特性をまとめるとともに、基本的な保育者としてかかわり方をまとめる。
第4回	保育環境の構成 保育環境とは、どのようなものか 何を、どのように構成するのか	事前学習	『保育所保育指針解説』第1章(4)保育の環境を読み、保育環境の基本的な構成を知る。

		事後学習	リフレクションシートを使用しながら、基本的な保育環境の構成を疑似的に行ってみる。
第5回	教材研究の必要性について 子どもの発達の状況、興味・関心、教材の持つ特性などを踏まえた教材研究の意義および教材の選択について考える	事前学習	保育教材とはどのようなものであるのか、参考資料を基に教材として使用可能なものを調べてくる。
		事後学習	ワークシートをもとに、選択した教材と子どもの発達を踏まえ、そのマッチングができるようにする。
第6回	教材をもとにした保育活動の展開① 乳児を対象とした絵本、紙芝居、おもちゃなど	事前学習	対象年齢を想定し、読んでみたい絵本、紙芝居、おもちゃなどを考えてくる。
		事後学習	選択した教材をもとに、保育環境の整い方をノートにまとめる。
第7回	教材をもとにした保育活動の展開② 幼児を対象にした運動、ゲーム、手遊びなど	事前学習	対象年齢を想定し、扱ってみたい運動、ゲーム、手遊びなどを考えてくる。
		事後学習	選択した教材をもとに、保育環境の整い方をノートにまとめる。
第8回	教材をもとにした保育活動の展開③ 幼児を対象にした造形、音楽、身体表現など	事前学習	対象年齢を想定し、扱ってみたい造形、音楽身体表現などを考えてくる。
		事後学習	選択した教材をもとに、保育環境の整い方をノートにまとめる。
第9回	模擬保育① これまで学んだ保育教材の中から、ワークシートをもとに実際の活動を考える	事前学習	模擬保育として扱ってみたい保育教材を選んでくる。
		事後学習	ワークシートに従って、活動が展開できるようにする。
第10回	模擬保育② グループを作り、模擬保育として行う教材を絞り込み、発表できるようにする。	事前学習	グループの中で取り上げたい教材を説明できるように準備する。
		事後学習	グループ内で決めた教材を模擬保育として発表できるようにまとめる。
第11回	模擬保育③ 模擬保育としてグループ発表を行う。	事前学習	模擬保育としてグループごとに発表する教材の研究を進めておく。
		事後学習	各グループの発表を聞き、感想や改善点などを皆で検討する。
第12回	模擬保育④ 模擬保育としてグループ発表を行う。	事前学習	模擬保育としてグループごとに発表する教材の研究を進めておく。
		事後学習	各グループの発表を聞き、感想や改善点などを皆で検討する
第13回	実習記録について 記録の意義と記入上の注意点について考える 時系列記録とエピソード記述の仕方など	事前学習	保育記録とはどのようなものかを事前に調べておく。
		事後学習	リフレクションシートから記録の意義や記録の種類についてまとめる。
第14回	実習記録について 記録の実際と省察 実習生の気づき、考察の仕方など	事前学習	保育の省察の意義、および方法について、PDFCサイクルの在り方について調べてくる。
		事後学習	リフレクションシートから省察の必要性についてまとめる。
第15回	保育実習に臨むにあたって	事前学習	これまでの授業を振り返り、実習に向けての在り方を振り返る。
		事後学習	自己課題を整理し、実習に向けて具体的な準備を整える。